



# 茶

## 防霜対策を 万全に！



農業経営支援課  
山本 尚充

《被覆》  
資材の破れや施設の緩みなどを点検しましょう。保温効果は資材により異なりますが、トンネル式で0.5℃、棚式で1〜2℃の保温効果があります。

### 《防霜ファン》

柱の傾きやサーモスタットが設定温度どおりに作動するか、ファンは正常に回転しているかなどに注意して点検してください。設定温度は3℃にします。防霜ファンの更新時期を迎える施設は、念入りに点検してください。

### 《スプリンクラー》

管の破損や目詰まり、ポンプなどを点検してください。散水量は10a当たり3〜4t。株面温度2℃から散水を始め、日の出後30分程度で中止しましょう。氷が溶けるくらいまで継続してください。

### 《香整枝》

秋に整枝をしなかった茶園は、春整枝を行います。3月上旬に寒害を受けない気温になったら、なるべく早く実施してください。深さは摘採面を揃える程度とし、葉層をできるだけ厚く確保してください。化粧ならしと呼ばれる再整枝は、一番茶摘採時に古葉などが混入しそうな場合に実施しましょう。秋整枝の摘採面より深くになると一番茶の減収や摘採時期の遅れにつながるので慎

新芽が耐えられる最低温度は  
生育程度により異なる



### 《病害虫の防除》

重に行ってください。  
赤焼病は、強風で生じた傷口から雨により感染します。毎年発生する園や幼木園では、2月下旬〜3月上旬に銅剤で防除を行ってください。

カンザワハダニは、南側裾部分の葉裏を観察し、ダニ寄生葉率が1.5%以上の場合に防除してください。防除時期は3月上旬〜中旬です。

### 越冬ダニの発生状況観察と防除

成虫(雌)

卵  
直径0.13mm

体長0.41~0.44mm、赤色または濃赤色、冬季の休眠中は朱色

葉の裏

葉の裏に寄生しているカンザワハダニ

産卵当初はほとんど透明、孵化直前になると淡赤色に変わる